

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 保健体育 ） 学年（ 1 学年 ）

目指す授業

- ・規律がある、安全な授業
- ・「わかった」「できた」を実感し、学ぶ楽しさを感じられる授業
- ・仲間と協力して課題を乗り越えていける授業



授業・アンケート等の課題分析

- ・個々の運動技能の差が大きく、全体指導と併せて技能別での活動を取り入れていく。
- ・自己の課題を見つけても、解決する方法がわからない生徒がいる。
- ・定期考査の結果から、知識が身に付いていない生徒が多かったため、単元の最後に知識をまとめたり整理する必要がある。
- ・互いに助言をし合い、学び合える雰囲気づくり。仲間と意見を共有し考えを深める時間を増やす。
- ・2学期から学習カードをプリントからオクリンクプラス（PC）に変更して、提出率が下がった。



成果と課題

成果

- ・毎時間、ランニングや補強運動を継続的に実施することで基礎体力が向上している。
- ・各単元の始めに準備や片付けの仕方、その運動で起こりうるけが等を事前に指導することで、年度を通してけがの発生が少なかった。さらに、生徒自ら率先して準備や片付けに取り組んでいた。
- ・模範を示したりPCを活用するなど、視覚的なアプローチを取り入れることで、技能のポイントを理解させたり、個々の課題を解決する方法を見つける力が定着してきている。また、互いに助言をし合い、仲間と意見を共有する姿も多く見られるようになってきた。
- ・ホワイトボード等で知識や技能の要点をまとめたり整理することで、定期考査の平均点が少しずつ上がってきている。

課題

- ・オクリンクプラス（PC）での課題提出率を上げるために、授業の中で取り組ませる時間を確保する必要がある。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科 (保健体育) 学年 (2 学年)

目指す授業

- ・「わかった」「できた」と実感でき、学ぶ楽しさを感じる授業
- ・規律正しく、安全・安心な授業
- ・仲間とともに協力し、互いの上達（成長）を共有できる授業



授業・アンケート等の課題分析

- 個々の基礎体力・運動技能の差が大きい。
- 自己の課題をみつけても、解決するための方法がわからない生徒が多い。
- 具体的な指示が出せる生徒が少ない。
- 定期考査の結果から、知識が身に付いていない生徒が多かった。各単元の最後に知識をまとめたり整理したりする必要がある。
- 学習カードから、抽象的な振り返りが多く、具体的に記載できるようにする。
- 2学期から学習カードをプリントからオクリンクプラス (PC) に変更して、提出率が下がった。



成果と課題

成果

- 毎時間、ランニングや補強運動を継続的に実施することで基礎体力が向上していると考えられる（来年度の体力テストで確認）。
- 各単元の始めに準備や片付けの仕方、その運動で起こりうるけが等を事前に指導することで、年度を通してけがの発生が少なかった。
- 各単元の最後に知識をまとめたり整理することで定期考査の平均点が少しずつ上がってきている。
- 各単元の中盤から終盤にかけて、課題解決学習を行う時間を多くとることで、具体的な解決方法を考えたり、教え合ったりすることができた。
- 模範を示したりアクティブボード等を活用したりするなど視覚的にアプローチし、技能のポイントを理解させたり、各技能のつまずきや改善するための練習方法など提示したりすることで、自己の課題発見や解決の方法など自己調整力が身に付いてきた。（学習カードの内容）

課題

- オクリンクプラス (PC) での課題提出率を上げるために、授業の中で取り組ませる時間を確保する必要がある。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 保健体育 ） 学年（ 3 学年 ）

目指す授業

- ・「わかった」「できた」と実感でき、学ぶ楽しさを感じる授業
- ・規律正しく、安全・安心な授業
- ・仲間とともに協力し、互いの上達（成長）を共有できる授業



授業・アンケート等の課題分析

- 定期考査の結果から、知識は身に付いている生徒が多いが、思考・判断・表現については課題がある。
- 個々の基礎体力・運動技能の差が大きい。
- 自己の課題をみつけても、解決するための方法がわからない生徒がいる。
- 2学期から学習カードをプリントからオクリンクプラス（PC）に変更して、提出率が下がった。



成果と課題

成果

- 毎時間、ランニングや補強運動を継続的に実施することで基礎体力が向上していると考えられる。
- 各単元の始めに準備や片付けの仕方、その運動で起こりうるけが等を事前に指導することで、年度を通してけがの発生が少なかった。
- 各単元の中盤から終盤にかけて、課題解決学習（グループ活動）で意見を共有しつつ考えを深めることができた。（学習カードの内容）
- 模範を示したりアクティブボード等を活用したりするなど視覚的にアプローチし、技能のポイントを理解させたり、各技能のつまづきや改善するための練習方法など提示したりすることで、自己の課題発見や解決の方法など自己調整力が身に付いてきた。（学習カードの内容・定期考査の結果）